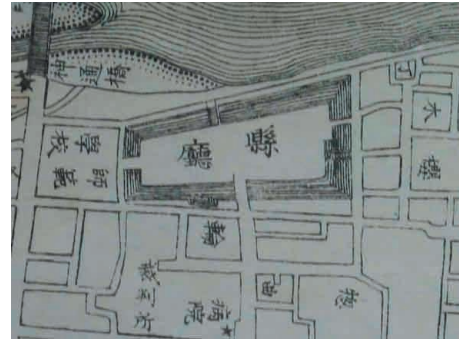




とやまけんちょう
富山県庁

めいじ ねん じょうし さいけん けんちょうしゃ しょうわ
明治33年に城址に再建された県庁舎。昭和5
ねん しょうしつ
年に焼失しました。



めいじ ねん じょうし
明治34年の城址

しゅうい ほり かく けんちょうしきち
周囲を堀で囲まれた県庁敷地

こんなこともありました その4

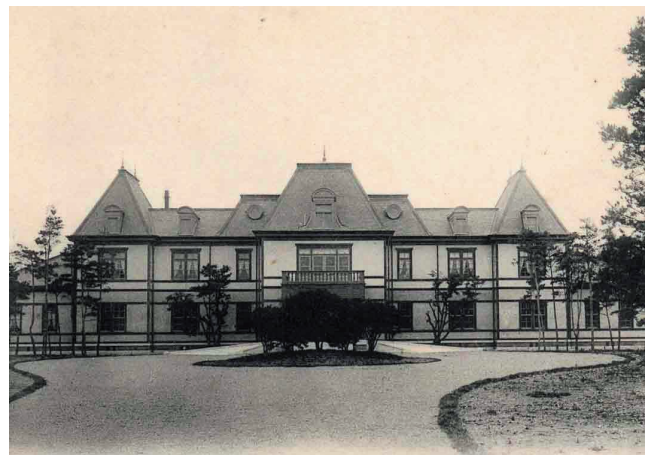
めいじ ねん とやまじょうし かんさい ふ けんれんごうきょうしんかい かいさい けんちょう さんのうち
明治32年、富山城址で関西府県連合共進会を開催することになり、県庁が山王町に、
ひ え じん じゃ じょうし うつ きょうしんかいしゅうりょうご こうえん せい び よてい
日枝神社が城址に移されました。共進会終了後は公園として整備する予定でした。とこ
ろが、おな とし が つ かいさいちよくぜん たい か けんちょう ひ え じん じゃ きゅうほんまるごてん しょう
同じ年の8月、開催直前の大火により県庁も日枝神社も、そして旧本丸御殿も焼
失してしまいました。その結果、共進会場は堀川村（現在の富山高校敷地）に移され、
けんちょう ひ え じん じゃ もと ばしょ もと じょうし けんちょうしきち もと
県庁と日枝神社も元の場所に戻されました。城址は県庁敷地に戻ったのです。

きゅうにしのまる めいじ ねん かんごくしょ げんざい けいむしょ お どう ねん
なお、旧西之丸には明治32年まで監獄署（現在の刑務所）が置かれていました。同16年、
にしがわ ほり どばし か かんごくしょ でぐち ほんまる にしのまる あいだ
西側の堀に土橋が架けられたのは、監獄署の出口とするためです。また、本丸と西之丸の間の
ほり どう ねん う た ご きゅうにしのまる きゅうほんまる あ かんり
堀は、同25年までには埋め立てられたようです。その後、旧西之丸は旧本丸と合わせて管理
され、監獄署移転後には県会議事堂が建てられました。



きゅうにしのまる かんごくしょ
旧西之丸の監獄署

はいはん ちけん さい とやまはん ろうごく のち かんごくしょ
廃藩置県の際、富山藩の牢獄（後の監獄署）
きゅうにしのまる かつ
が旧西之丸に移されました。



とやまけんかいぎ じどう
富山県会議事堂

めいじ ねん こうたいし のち たいしょうてんのう きょうけいきねんじぎょう
明治42年に皇太子（後の大正天皇）行啓記念事業と
けんせつ
して建設されました。